

令和8年度第1回  
三郷市景観審議会  
会 議 録

## 令和8年度第1回三郷市景観審議会

1 開催日時 令和8年5月18日(月) 10時00分～11時00分

2 開催場所 三郷中央におどりプラザ3階 会議室B

3 出席者 7名(委員総数9名)

○委員

野中会長、田邊副会長、鈴木委員、平井委員、  
岡庭委員、加藤委員、大原委員

○事務局

城津まちづくり推進部長(以下、まちづくり推進部長)

川端まちづくり推進部副部長(以下、まちづくり推進部副部長)

都市デザイン課：谷口参事兼課長(以下、都市デザイン課長)

岩間課長補佐兼都市景観係長(以下、都市デザイン課長補佐)

南雲主任

鈴木主事

向井主事

4 議題

議案第1号 第7回三郷市景観賞の実施について【意見聴取】

報告第1号 三郷市景観計画に基づく届出の状況について

5 議事内容

(1) 開会

●まちづくり推進部副部長

[開会]

(2) 会長挨拶

●野中会長

[会長挨拶]

(3) 会議成立の報告

●まちづくり推進部副部長

[事務局紹介]

●野中会長

[委員の出席状況を求める]

●都市デザイン課長補佐

[委員9名中7名が出席していることを報告する]

●野中会長

[出席状況を受け、審議会の成立を報告する]

[会議録の署名委員に、岡庭委員、加藤委員を指名]

[議題が非公開情報に該当しないことを報告の上、本審議会の公開の是非を委員に尋ねる]

●全委員

[公開することについて全会一致]

●野中会長

[傍聴者の申し込み状況について事務局へ報告を求める]

●都市デザイン課長補佐

[傍聴の申し込みがなかったことを報告する]

(4) 議題

「議案第1号 第7回三郷市景観賞の実施について【意見聴取】」

●野中会長

[議案第1号について、事務局へ説明を求める]

●都市デザイン課長補佐

[議案第1号について、資料に基づき説明する]

●野中会長

ただいま事務局から、議案第1号について説明がありました。この件について、委員の皆様のご意見、ご質問を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

平井委員お願いします。

●平井委員

ご質問というかご意見に近いと思いますが、今回で第7回目ということでご説明していただきましたけども、過去の1回目から6回目の内容を私全然知らないんですね。なので、1回目から6回目の概要もPRしていただきたい。せっかく過去6回実施しているのに、過去の受賞作品とかですね、三郷がこう変わって良くなっているんだよというのをぜひPRしていただきたい。

続いて、議案書参考資料2ページの三郷市景観賞実施要領第5条を見ると、(4)届出部門とありますが、今回の第7回では届出部門は実施しないのでしょうか。

これも意見となるのですが、良い景観を取り上げるということはすごくいいとは思いますが、逆に市民の方に悪いところも見てほしい。例えば、ワースト景観などをやっていただくのも面白いかと。その方が、ベストとワースト両方を含んだ方がいいのではないかと。市の立場からするとやりにくいのかも知れないですけど。私としては、面白いんじゃないかと思いますので、ご検討をお願いします。

●野中会長

事務局よりお願いします。

●都市デザイン課長補佐

届出部門ということでご質問いただきましたが、議案書1ページの(2)これまでの開催実績という欄で記載しておりまして、表の④が届出部門の開催実績となっております。平成25年度の第2回を最初に行いまして、平成30年度の第4回、令和5年度の第5回と実施しているところです。この届出部門については、三郷市景観条例、景観計画に基づき届出をしていただいたものを過去5年間の中で、事務局と景観賞選考委員会さんで選び、良い景観ですよと表彰するものが届出部門となります。

●平井委員

今回は届出部門はやらないということでしょうか。

●都市デザイン課長補佐

はい。令和5年度に実施しており、届出部門については、その5年後の令和10年度に届出部門だけで開催することになるかと思います。

●平井委員

今回は届出部門はやらないんですね。

●都市デザイン課長

はい。今回の応募部門と届出部門の違いなんですけど、今回は自主的に提案していただくものを表彰ということになります。先ほど岩間から説明しましたとおり、届出部門は届出手続きを経ているものに関して、その中から選定させていただくといったものになっております。

それからあとは、ワースト作品のお話ございましたが、こちらは内部で検討させていただきます。

それから、最初にごございました過去作品のPRという部分はぜひ検討させていただきたいと思います。すごく良い取り組みになるかなというふうに、事務局でも考えますので、検討させていただきます。ありがとうございます。

●野中会長

過去の景観賞のことについて、存じ上げないということだと、既に周知されているかとも思うのですが、PR、周知が十分されていないということかというふうに思うんですけれども、今回改めて募集することに関して、過去どういうものが受賞したのかということについては情報の提供はされるんですよね。おそらく、既にホームページか何かでアップされているんじゃないかと推察しますけれども。

●都市デザイン課長補佐

まだ募集に関するホームページの方はアップしてないところです。  
過去の景観賞については載せております。

●野中会長

募集についてはそうですか。過去作品のURLなりが、募集のHPに貼られて過去のものも参照できれば良いと思います。多分同じものを出すとちょっと不利になるということも想定されるので。そういうこともあわせてお願いをしたいというふうなことかと思います。

●都市デザイン課長補佐

ありがとうございます。

●野中会長

私見となりますが、ワーストについて、かつて20年ぐらい前に著名な先生方が、日本全国の悪いところを出して、物議をかもし出して、その1位がある駅前の広告看板類がすごい出てるところがあったっていう、かなりセンセーショナルだったんですけれども。逆にその自治体の方は、悪い意味で1位になったっていうことで、それによってすごい取り組みがされたというようなこともあります。なかなかやはり、厳しいとい

うか難しい側面はあるかなと思います。それよりもやはり良い景観を取り上げるという方向が一般的には多いと思います。

ワーストを実施する際は、特定しないという手もあるかと思いますが。こういうのは良くないとか。それもやはり、このご時世だとすぐ特定されてしまう可能性があるので、その辺は難しい側面があるかなというふうに思います。

他、ご意見いかがでしょうか。

はい。田邊副会長お願いします。

#### ●田邊副会長

議案書の2ページの(3)表彰対象について、①、②、③と3つの部門で応募を募るということかと思います。このうちの②建物・緑部門について、その内訳が建築物、工作物、緑等となっていて、建築物については多くの方がわかると思います。他の工作物、緑について、具体的にどういうものか、③景色部門との違いというものが分かるようにしていただきたい。例えば、応募例を見ると神社やビルについての記載のみとなっておりまして、全て建築物なので、ここに工作物として、例えば橋梁ですとか、緑としては、例えば、何々神社の大ケヤキとかですね、そういう具体的なイメージが湧くような応募例を掲載すると良いと思います。

私こんな体型ですが、ロードバイクに乗っておりまして、江戸川のサイクリングロードに風の広場というものがあまして、水場とトイレとベンチがあるので、よく利用させていただいております。厳密に言うと、トイレは建築物になるかもしれないですけど、モニュメントのようなものがあまして、恐らくそれは工作物だと思います。そういった具体例を出して、一般の方にわかりにくい部分を少し補足して、よりそういうものが応募の中に上がってくるように工夫されるといいのかなというふうに感じました。

#### ●野中会長

事務局いかがでしょうか。

#### ●都市デザイン課長補佐

はい。大変参考になりました。今後、ホームページ等、応募をかける際に周知方法について参考にさせていただきます。

#### ●野中会長

過去の受賞作品なんかも多分参考にはなるのかなというふうに思いますし、生垣や板塀等も工作物になりますし、また、一般の方が緑と聞いて、緑色なのかと、また、草木や花壇とかに考えられる可能性もあるかと思います。例示して、わかりやすく工夫されるといいかなというふうに今お聞きして思いました。

●都市デザイン課長補佐

ありがとうございます。

●野中会長

はい。平井委員お願いします。

●平井委員

過去の受賞作品を少し見させていただいてるんですけども、やはり建物しか表彰されていないような気がします。あと、活動部門って応募はあるのでしょうか。第6回を見ているのですが、活動部門がないので、その辺をわかりやすくいろんな景観を出してもらった方が、市民としては嬉しいかなと思いますので、周知方法についてご検討していただければなと思います。

●野中会長

事務局からお願いします。

●都市デザイン課長補佐

第6回は届出部門となっております、建築物の届出が多いので、基本は建築物しかない形になります。また、活動部門についても応募はあるのですが、件数は少ないと聞いております。先ほど例示の話もありましたけども、その辺りで何とかアピールしていきたいと思います。

●都市デザイン課長

具体的に作るなど、応募例で工夫をする等、わかりやすい表現とするよう取り組みたいと思います。

●野中会長

私の過去の経験からすると、建物、例えば住宅の場合でも、いわゆる庭の緑化や沿道緑化の部分が工夫されていて、一般的な住宅であっても、工夫された緑化を施されており、建物と緑化併せて、その工夫を評価し表彰したというような事例も記憶しているところでもあります。

はい。鈴木委員お願いします。

●鈴木委員

鈴木です。よろしくお願いします。

応募資格の変更について、議案書参考資料1ページに第5回の景観賞からの変更ということで、応募資格の変更前後が載っているのですが、こちらで今回、三郷市に在住、在学、在勤以外の方も応募が可能になったと、どなたでも応募可能ということで、反社以外では応募ができるという格好になったかと思います。市内外、三郷に住んでる、身近にいる人以外の方でも応募できるようになったと、そう意味ではすごい大変良いことだと思います。

1つ、第5回景観賞の際の応募件数について、今回の変更理由は応募機会の拡大って書いてありますけれども、三郷市以外の方からも応募いただいて、もっともっと景観賞っていうものをアピールしていこうとそういった狙いとかも含んでいるのでしょうか。応募件数として、拡大の意図もあるのでしょうか。

●野中会長

事務局からお願いします。

●都市デザイン課長補佐

おっしゃる通りでして、応募資格を広く取ることによって応募件数をできるだけ伸ばしていきたいという意図はあります。

●鈴木委員

前回の応募件数はどれくらいだったのでしょうか。

●都市デザイン課長補佐

応募件数全体で17件でして、建物・緑部門が4件、景色部門が11件、活動部門が2件という内訳になっております。少ないのは少ない状況ですね。

●鈴木委員

確かに私も当時、委員をしていない中で、応募していませんから、言えないんですけども、17件ぐらいしかないんですね。届出部門は相当な件数が届けられているものから、十分あったかと思いますが、前回17件から選ぶってなると、かなり限られたかたちになってしまうかと思うので、応募って意味で言うと拡大していかないという部分はあるのかなっていうふうに今感じました。

●野中会長

平井委員お願いします。

●平井委員

ちなみに、観光協会さんでも何か似たような写真のやつやってますよね。これ一緒にコラボとかしたらいいんじゃないですか。

届出部門は景観賞として実施しなければならないかと思いますが、景色部門とかはコラボしてもいいんじゃないかと。

●都市デザイン課長補佐

ご意見ありがとうございます。それに関しても今後考えていかなければいけないと  
思っているところです。

観光協会主催の写真コンテストと景観賞では、実施目的が異なっておりまして、共同  
開催とするには、そこをうまくすり合わせればいけないと考えております。

●都市デザイン課長

今の岩間の説明について、補足させていただきますと、目的として景観賞は愛着を持  
っていただくというところでした、観光協会の方はシティプロモーションを目的に実  
施しているところです。重なる部分はたくさんあるとあると思いますけれども、目的が  
異なってくるかなと思います。

●野中会長

事務局からありました通り、目的も違いますし、また、選考の基準が違ってくると思  
います。景観賞は写真コンテストではないので。

得てして過去の経験から、景色部門が写真コンテストに応募してるような写真が出  
てくるんです。ですが、景観賞は景観形成というものですので、実際に普段、目にする  
ような要素がどうなのかということがメインになるのかなというふうに思います。

ただ、とはいえ、例えば夜景で、満月がちょうど街路樹の正面に見えて綺麗だとか、  
冬だとイルミネーションが綺麗だとか、そのような写真を景色部門で応募されること  
もあるんです。ハイアマチュアの方が一生懸命写真を撮った物を応募されて、写真の出  
来栄えで評価を左右してはまずいのが景観賞になろうかと思えます。その辺を選考側  
は検討しなければいけないかなというふうに思っております。これは、私の過去の経験  
からということではありますけれども。

他、いかがでしょうか。

応募期間は1年間設けるのですね。

●都市デザイン課長補佐

前回の応募部門の際に、委員の方から四季の移ろいも含めて、応募期間は1年間あつ  
た方がいいのではないかというご意見をいただいております、それを参考に、今回は  
スタートを早めて応募期間を1年とした感じです。

●野中会長

最初はボンと打ち出しても、やっぱり1年経つと風化していくこともあるので、ある程度の間隔を置いて、アピールや周知をしていくということも必要かなというふうに思います。

ぜひ委員の方々も周の方に少しお声をかけていただいて、応募をできるだけ多くしていく手立てもあってもいいかなというふうに思います

他、ご意見ご質問いかがでしょうか、よろしいですか。

●平井委員

新しいネーミングをそろそろ考えてみてもいいのかなと思います。わからないですけど、グッドデザイン賞とか、そういったカタカナとか入れてもいいと思います。景観賞という名称は少し固いかなと。固い賞なのかもしれないですけど。私的には都市デザイン課長みたいな感じで、グッドデザイン賞みたいな、カタカナを入れても、あとまちづくりも入れてもいいのかなとか、少し三郷市景観賞は固いような、最近柔らかい表現が人気みたいなので。目に付くというところで言うと、そういうのもいいのかなと思います。もしよろしければ、次回からでも、考えていただければと思います。

●都市デザイン課長補佐

はい。公共が苦手とするところになるかと思います。検討させていただきます。

●野中会長

副題といいますか、キャッチフレーズ的なものを添えるような、ひらがなカタカナを含めて実施するのも良いのではないかと思います。検討をお願いします。

意見が出尽くしたようですが、他にご意見はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、議案第1号「第7回三郷市景観賞の実施について」本日委員の皆様からいただいたご意見を踏まえて、進めていただくようお願いします。

**「報告第1号 三郷市景観計画に基づく届出の状況について」**

●野中会長

[報告第1号について、事務局へ説明を求める]

●都市デザイン課長補佐

[報告第1号について、資料に基づき説明する]

●野中会長

ただいま事務局から、報告第1号について説明がありました。この件について、委員の皆様のご意見、ご質問を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

●田邊副会長

景観計画の運用実績と景観アドバイザーの活用について、事務局よりご報告いただきましたけれども、私、景観アドバイザーをやらせていただいているので、少し補足をさせていただきたいと思います。

まず、事例として倉庫の例が挙がっていますが、これは倉庫を実際に利用する事業者さんのコーポレートカラーに近い色彩で塗替えをしようというような案件でした。当初の2.5 YR 5/6、あるいは、2.5 YR 7/6という、この6という数字が色の鮮やかさを表している数字でして、これが三郷市景観計画の中で使える最大限鮮やかな色になります。当初計画と意見採用後の違いというのは、彩度が4や3と半分ぐらいの鮮やかさに抑えられているので、より落ち着いた外観になる効果というのは得られているはずです。それともう1つ大きいのはですね、2.5 YRという最初の記号は、色合いを表しているものです。それが7.5 YR 4/4と7.5 YR 7/3ということでそれぞれ変わりました。2.5 YRと7.5 YRの違いは、2.5 YRはより赤みがあってピンク寄りなんです。7.5 YRの方がより黄に近い色彩で、オーソドックスなベージュ色に近いというものになります。簡単に上げると、ピンク寄りの配色だったものが、ベージュよりの落ち着いた計画になったということです。ただし、落ち着いてはいますけれども、彩度3、4という色が使われてますので、それなりに色みはあるというような計画に変わったというものです。

それから、小学校の方はA案を基本に組み立てていただいていますけれども、小学校なので、明るい色を使うというのはとても良いことだと思う反面、やはり公共施設なので、改修の時期が、塗料ですので一般的には10年ですが、おそらく10年で次回改修というのは、なかなかそのようには進んでいないということもあります。明るい色の部分を少しだけ下げていただいて、汚れの対策ということで、時間が経っても汚く見えないうようにということで、明度を調整していただいた結果です。明度を9から8に下げてくださいまして、他に使用されているもう1つの色は明度6という色なので、元々明度9と6なので、明度の違いが3ぐらいありました。それが明度を調整していただいて、明度8と6の組み合わせになって、明度の差が2ぐらいになりました。色の組み合わせとして、明度差が2ぐらいの差ははわりと優しいというか、柔らかめの配色になりますので、学校の外観にもふさわしいんじゃないかということで、こういう調整をしていただいた結果、景観がより柔らかいものになったと私なりには思っているところです。

●野中会長

ご専門の立場から補足いただきありがとうございます。

他にご意見、ご質問いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、報告第1号「三郷市景観計画に基づく届出の状況について」を終了いたします。

以上で本審議会につきまして、私が行う議事進行案件については終了しましたので、事務局へ進行をお返しいたします。円滑な議事進行へのご協力、ありがとうございます。

(5) 閉会

●まちづくり推進部副部長

[閉会]